

令和7年産

J Aえちご中越 さんとう地域「新之助」栽培暦

新之助研究会

月	4月					5月					6月					7月					8月					9月																																		
日	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25																														
出穂前後日数	品種特性に合わせた作業計画の策定																				-20	-11	0	+43																																				
生育ステージ	種子消毒 (温湯消毒) ↓ 浸種開始 【作業目安】 4月 8日 催芽 ↓ 播種 播種量の目安: 150g/箱 4月 20日	『稚苗の規格』 <table border="1"><tr><td>苗丈</td><td>12.0cm</td></tr><tr><td>葉齢</td><td>2.0~2.3葉</td></tr><tr><td>第1葉鞘長</td><td>3.0~3.5cm</td></tr></table> 『草刈ウイーク』 6/7~14 320本 30cm 36.0 60本 12cm 『草刈ウイーク』 7/5~12 580本 45cm 38.0 550本 65cm 78cm 稈長 78 cm m ² 穗数 400本 的確な生育診断による適切な穗肥施用 気象予報と出穂以降の積算温度にもとづく刈取計画の策定 病害虫防除の徹底(いもち病・紋枯病・カメムシ) 播種日数は20日程度 田植え 5月10日~ 中干し開始 6月10日~ 最高分け期 7月5日 1回目穗肥 7月23日 2回目穗肥 8月1日 出穂期 8月12日 収穫期 9月24日~	苗丈	12.0cm	葉齢	2.0~2.3葉	第1葉鞘長	3.0~3.5cm	疎植を避ける m ² 茎数 草丈 葉色 全場溝切り	4月18日	4月20日	育苗日数は20日程度	田植え 5月10日~	中干し開始 6月10日~	最高分け期 7月5日	1回目穗肥 7月23日	2回目穗肥 8月1日	出穂期 8月12日	収穫期 9月24日~																																									
苗丈	12.0cm																																																											
葉齢	2.0~2.3葉																																																											
第1葉鞘長	3.0~3.5cm																																																											
病害虫防除	【いもち・紋枯病予防】 ルーチンライト箱粒剤 播種時~移植当日 除草剤散布	“補植苗”を早期に撤去する 6月中旬~葉いもち病[早期発見 早期防除]	★必須防除★ 穂いもち病 ゴウケツ1キロ粒剤 出穂20~10日前 【カメムシ防除】 スタークリ剤 穗ぞろい期																																																									
水管理	・田植後→3~4cmのやや深水で植え傷み回避 ・活着後→2~3cmのやや浅水で早期分け促進 ・除草剤散布時→湛水状態(水深5~6cm)で散布 ・中干し開始まで→浅水更新でワキの発生防止	やや深水 一時湛水 浅水更新 中干し・溝切り	生育量を把握して遅れずに!! 小ヒビが入る程度になったら終了	飽水管理の継続 ⇄ タメ水厳禁 (異常高温時には一時湛水)	フェーンの発生時: 地域の水利条件等に応じた こまめな水管理の徹底で夜間水温を下げる	出穂後 25日以降(通水最終日) に最終かん水を実施!!	落水期																																																					
栽培管理のポイント	<p>Point 1 ～適正な作業計画の策定により健苗を育成します～</p> <p>① 適期播種、適正な播種量、育苗期間20日程度で健苗を育成</p> <p>② 土壤診断結果にもとづく土づくり資材(有機質・ケイ酸)の施用</p> <p>③ 転作跡・ほ場整備直後や、いもち病の発生しやすいほ場で栽培しない→作土深15cmの確保～ほ場条件に応じた適正量の基肥施肥→基肥N施肥量のめやす: 「10a当たり2.5kg~3.0kg」</p> <p>Point 2 ～適期田植えで初期生育を確保します～</p> <p>① 移植前追肥(べんとう肥)の施用→活着・初期生育を促進</p> <p>② 田植期のめやすは5月中旬 ・栽植密度: 50株/坪 ・植付本数: 3~4本/株 ・植付深さ: 2~3cmの浅植え</p> <p>③ いもち病の発生しやすい地域・ほ場では予防除除(箱施用剤)を徹底→補植苗を速やかに撤去</p> <p>Point 3 ～生育状況にあわせた生育調節で過剰生育を抑制します～</p> <p>① 田植30日後をめやすに目標穗数の80% (320本/m²=1株あたり21本)を確保してから→適期中干し開始</p> <p>② 全場溝切り(10条: 3mに1本) →速やかに湛水・排水管理</p> <p>③ 本格的な梅雨入り前にしっかり地固め→中干しは小ヒビが入る程度になら終了→遅くとも出穂30日前までに飽水管理へ移行</p> <p>Point 4 ～病害虫防除と水管理の徹底で稻体機能を維持します～</p> <p>① いもち病・紋枯病の早期発見～早期防除(こまめにほ場巡回)</p> <p>② 中干し以降は、田面が強く乾くことのないよう飽水管理を継続(強い中干し・タメ水→厳禁)</p> <p>③ 出穂後25日以降に最終かん水を入水(落水は出穂28日以降) ～異常高温時には、速やかに一時湛水～高温障害を防止</p> <p>Point 5 ～適切な生育診断による穗肥施用→品質・収量を確保します～</p> <p>① 穗肥は出穂21~18日前(幼穂長0.5cm)と12~10日前(葉耳間長0cm)の2回に分けて施用→1回あたり施肥量のめやすはN: 1.0kg、2回合計2.0kg/10a</p> <p>② 2回目の穗肥は確実に施用する</p> <p>③ 急激な葉色低下がみられた場合は追加穗肥を施肥(過剰施肥に注意)→玄米タンパク基準: 6.3遵守</p> <p>Point 6 ～適期刈取、適切な作業により高品質米に仕上げます～</p> <p>① 出穂後の積算気温: 1050~1100°Cを参考に糲の黄化率(85~90%)を確認して適期に収穫する</p> <p>② 脚割粒の発生防止: 刈遅れに注意～糲水分の確認～適正な乾燥温度・速度で急激に乾燥させない→基準適合米に仕上げる</p> <p>③ 収穫後は早めに土づくり資材の投入+稻わらの秋すき込み</p>																																																											
	《施肥のめやす》 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>時期</th><th>N成分</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>土づくり</td><td>収穫後</td><td>—</td><td>稻わら秋すき込み 有機質・けい酸質資材</td></tr><tr><td>基 肥</td><td>～田植え</td><td>3.0kg</td><td>地力に応じて</td></tr><tr><td>穗肥1</td><td>出穂21~18日前</td><td>1.0~1.5kg</td><td>遅れず施肥～糲数確保</td></tr><tr><td>穗肥2</td><td>出穂12~10日前</td><td>1.0~1.5kg</td><td>しっかり施肥～登熟向上</td></tr><tr><td>合 計</td><td>—</td><td>5.0~6.0kg</td><td>*一発基肥 トータルN: 5.0~6.0kg</td></tr></tbody></table>	区分	時期	N成分	備考	土づくり	収穫後	—	稻わら秋すき込み 有機質・けい酸質資材	基 肥	～田植え	3.0kg	地力に応じて	穗肥1	出穂21~18日前	1.0~1.5kg	遅れず施肥～糲数確保	穗肥2	出穂12~10日前	1.0~1.5kg	しっかり施肥～登熟向上	合 計	—	5.0~6.0kg	*一発基肥 トータルN: 5.0~6.0kg	《生育のめやす》 <table border="1"><thead><tr><th>生育ステージ</th><th>時期</th><th>草丈(cm)</th><th>茎数(本/m²)</th><th>葉色(SPAD)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1回目穗肥</td><td>7/23</td><td>65</td><td>550</td><td rowspan="3">33~36</td></tr><tr><td>2回目穗肥</td><td>8/1</td><td>*</td><td>*</td></tr><tr><td>出穂期</td><td>8/12</td><td>78 (稈長)</td><td>400 (穗数)</td></tr></tbody></table>	生育ステージ	時期	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉色(SPAD)	1回目穗肥	7/23	65	550	33~36	2回目穗肥	8/1	*	*	出穂期	8/12	78 (稈長)	400 (穗数)	《品質向上・収量確保目標》 <table border="1"><thead><tr><th>玄米1等級比率</th><th>90%以上</th></tr></thead><tbody><tr><td>10a当たり収量</td><td>540kg</td></tr></tbody></table>	玄米1等級比率	90%以上	10a当たり収量	540kg	《品種特性》 <table border="1"><thead><tr><th>早生</th><th>耐倒伏性</th><th>葉いもち</th><th>穂いもち</th><th>紋枯病</th></tr></thead><tbody><tr><td>晚生</td><td>やや強</td><td>やや弱</td><td>弱</td><td>やや弱</td></tr></tbody></table>	早生	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	紋枯病	晚生	やや強	やや弱	弱	やや弱
区分	時期	N成分	備考																																																									
土づくり	収穫後	—	稻わら秋すき込み 有機質・けい酸質資材																																																									
基 肥	～田植え	3.0kg	地力に応じて																																																									
穗肥1	出穂21~18日前	1.0~1.5kg	遅れず施肥～糲数確保																																																									
穗肥2	出穂12~10日前	1.0~1.5kg	しっかり施肥～登熟向上																																																									
合 計	—	5.0~6.0kg	*一発基肥 トータルN: 5.0~6.0kg																																																									
生育ステージ	時期	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉色(SPAD)																																																								
1回目穗肥	7/23	65	550	33~36																																																								
2回目穗肥	8/1	*	*																																																									
出穂期	8/12	78 (稈長)	400 (穗数)																																																									
玄米1等級比率	90%以上																																																											
10a当たり収量	540kg																																																											
早生	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	紋枯病																																																								
晚生	やや強	やや弱	弱	やや弱																																																								
	《収量構成要素》 <table border="1"><thead><tr><th>収量(kg/10a)</th><th>1穂粒数(粒)</th><th>穂数(本/m²)</th><th>m²穂数(百粒)</th><th>登熟歩合(%)</th><th>千粒重(g)</th></tr></thead><tbody><tr><td>540</td><td>70</td><td>400</td><td>280</td><td>82%</td><td>23.5</td></tr></tbody></table>	収量(kg/10a)	1穂粒数(粒)	穂数(本/m ²)	m ² 穂数(百粒)	登熟歩合(%)	千粒重(g)	540	70	400	280	82%	23.5	《生育のめやす》 <table border="1"><thead><tr><th>生育ステージ</th><th>時期</th><th>草丈(cm)</th><th>茎数(本/m²)</th><th>葉色(SPAD)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1回目穗肥</td><td>7/23</td><td>65</td><td>550</td><td rowspan="3">33~36</td></tr><tr><td>2回目穗肥</td><td>8/1</td><td>*</td><td>*</td></tr><tr><td>出穂期</td><td>8/12</td><td>78 (稈長)</td><td>400 (穗数)</td></tr></tbody></table>	生育ステージ	時期	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉色(SPAD)	1回目穗肥	7/23	65	550	33~36	2回目穗肥	8/1	*	*	出穂期	8/12	78 (稈長)	400 (穗数)	《品質向上・収量確保目標》 <table border="1"><thead><tr><th>玄米1等級比率</th><th>90%以上</th></tr></thead><tbody><tr><td>10a当たり収量</td><td>540kg</td></tr></tbody></table>	玄米1等級比率	90%以上	10a当たり収量	540kg	《品種特性》 <table border="1"><thead><tr><th>早生</th><th>耐倒伏性</th><th>葉いもち</th><th>穂いもち</th><th>紋枯病</th></tr></thead><tbody><tr><td>晚生</td><td>やや強</td><td>やや弱</td><td>弱</td><td>やや弱</td></tr></tbody></table>	早生	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	紋枯病	晚生	やや強	やや弱	弱	やや弱												
収量(kg/10a)	1穂粒数(粒)	穂数(本/m ²)	m ² 穂数(百粒)	登熟歩合(%)	千粒重(g)																																																							
540	70	400	280	82%	23.5																																																							
生育ステージ	時期	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉色(SPAD)																																																								
1回目穗肥	7/23	65	550	33~36																																																								
2回目穗肥	8/1	*	*																																																									
出穂期	8/12	78 (稈長)	400 (穗数)																																																									
玄米1等級比率	90%以上																																																											
10a当たり収量	540kg																																																											
早生	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	紋枯病																																																								
晚生	やや強	やや弱	弱	やや弱																																																								